

賛助会員にお届けする機関紙

2009

4月

No.334

# おがやま 産業情報

財団法人岡山県産業振興財団  
http://www.optic.or.jp

発行日: 毎月5日発行  
発行所: (財)岡山県産業振興財団  
〒701-1221 岡山市北区芳賀5301  
テクノサポート岡山  
TEL 086-286-9661



開かれた財団  
頼られる財団  
スピード財団。

# 島津 義昭

(財)岡山県産業振興財団 理事長

P2

## 平成21年度(財)岡山県産業振興財団 スタッフと事業計画を紹介

P2~5



バンド活動や旅行同好会など職員の自主的な活動も活発な財団です。自主活動を通じたチームワークと結束力(マンパワー)で、県内企業の皆さんの力になります。【設備資金課 主事 藤井 愛子(左)、研究開発支援課 主事 竹内 聖子(右)】

岡山県産業振興財団は  
こんな職場です。

### Line up

【特集】	プレ・インキュベーションセミナー受講者が語る	P 8~9
【財団レポート】	中国・大連市を視察	P 6
	景気対策支援	P 7
【人・企業製品】	花田技研工業(株)	P 10
【賛助会員 わが社のいちおし】	(株)製紙原料佐藤商店	P 11

# 家庭ゴミからカラー舗装材へ

## 花田技研工業(株)



2月16日(月)、花田技研工業(株)が開発・販売している、ゴミから生まれた透水性景観樹脂舗装材「グラブソイル」が、平成20年度異業種交流成果表彰において「優秀製品賞」を受賞した。

この製品は、平成19年度に「岡山県新商品による新事業分野開拓事業者」の認定を受け、たのをはじめ、平成20年には、「岡山県エコ製品(岡エコ景観舗装材第1号)」としても認定され、県内の公共工事にも使用できる。開発のきっかけはカーサイド、塗料メーカーの勤務経験がある花田社長は、「カーサイドは天然の砂にさまざまな色で着色したものが、天然砂は貴重な資源。代替品を使つてできないか」と考えた。そこで目を付け、家庭から出る可燃ゴミを焼却し、溶融してできる溶融スラグ。同社は自治体から溶融スラグを原料として購入し、独自の着色技術(特許出願済み)によって「グラブソイル」を開発した。「当社はベンチャー企業なので開発にかける経費で苦労した」と花田社長。しかし、成功を信じ、ベンチャーならではのすき間産業を狙った、オンライン技術による国内での資源リサイクル商品の開発を目指した。

### 全国の自治体へ展開

認められてうれしい。実績としてはまだまだだが、社会へ貢献できれば」と喜ぶ。代理店を通じて全国の自治体へ展開しており、京都府では道路のカーライアスファルト舗装材の開発もしている。今年2月には、京都府の「研究開発等事業計画に係る認定」を受けた。今は「グラブソイル」と合わせて、タイヤリサイクルチップを取り込んだゴム弾性舗装材「グラブソイル」や、カーライアスファルト舗装材「グラブソイル」のシリーズ化を進める。主に歩道の舗装材として使用し、都市景観や色による歩道の「識別管理」、ヒートアイランド温度抑制効果なども期待できる。同社は、工場を持たないアジア型製造メーカーを目指している。時代の流れを乗り切るために、専門性に特化した異業種などとの連携を図ることで、事業効率の低下や人材不足などのリスクを回避することが狙い。また企業実績を残すために経営の安定化にも努める。今回受賞した「グラブソイル」は開催中の全国都市緑化おかもまフェアにも協賛し出展している。花田社長の思いが徐々に広がり始めている。

優秀製品賞受賞

「グラブソイル」

平成20年度異業種交流成果表彰

平成16年4月27日  
 花田 麟和  
 美作市巨勢2003  
 08683-7217077  
 1,000,051円  
 業地し金数  
 資在巨本  
 創代所止  
 従業員数  
 http://www.hanada-giken.co.jp/